

令和7年度 学校経営計画

白山市立湊小学校

校長 新谷 勝士

1. 経営理念

- (1) 学校は、子どもたちにとって安心・安全に学ぶことができる場、子どもたち一人一人が認められ「今日も楽しかった、明日も来たい」と思える場、自分に自信を持ち、明日への夢と希望が持てる場でなければならないと考える。
- (2) 急速に変化し予測困難な時代において、一人一人が持続可能な社会の担い手として、新たな価値を生み出し、たくましく生き抜くには、学校での学びや体験を通して多くの感動や喜びを味わい、教師や友達等多くの人との関わりを通して社会の中で生きる力を学んでいくことが必要である。学校は、子どもたちが一人の社会人として自立していくためには欠かせない教育の場であり、学校が大好きで元気な子どもたち、笑顔と活力にあふれる教師たちがいることが大切である。
- (3) 学校は地域・保護者に対して開かれていなければならない。学校運営協議会等を通して、地域のニーズに合った課題や思いを共感的に受け止め、共に協力して児童を育てることにより、教育効果が高まると考える。一方、地域協働活動推進員（コーディネーター）を中心として、学校のニーズに応じた形態で外部人材の活用を進める。したがって、学校運営協議会、学校だより、校長だより、ホームページ等により、学校の課題や方針・取組を発信し、地域・保護者と一体となった教育を推進する必要がある。また、白山ジオ学習やSDG s教育を推進するとともに子どもたちが地域の良さを知り、地域に誇りを持てるよう地域に根ざした学校を目指したい。
- (4) 人事評価制度を有効に活用し、目標の共有と役割の明確化を行い、一人一人の教職員の能力を最大限に発揮させるとともに、1年間単位で目指す児童の姿や育みたい資質・能力の実現を学校評価と連動させながら図っていく。

2. 児童の実態

- (1) 素直な児童が多く、教職員の意向に従順な傾向がある。
- (2) 異学年とのつながり、仲間を大切にする心等が高学年を中心に育っている。
- (3) 自分たちでよくなろうとする向上心や、こだわって最後までやり抜く力が乏しい。
- (4) 固定化した人間関係の影響があり、特定の児童のみが活躍する傾向がある。

3. 学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

【目標に込めた思い】

- ・主体性（自ら進んで創造していく）
- ・協働性（学び合い、認め合い、新たな価値を生み出す）
- ・困難な状況、課題にもひるまず、粘り強く最後までやり抜く力
- ・夢と希望を持ち、未来をたくましく切り拓いていく児童
- ・温かく、思いやりのある児童
- ・正しく判断し、行動できる児童
- ・友達や自分の良いところを認め合う児童

4. 教育方針

- (1) 学校経営ビジョンの共有化を図り、チームとして意図的・計画的・組織的な学校運営を行う。
- (2) 毎日の授業が学校教育の要であることを意識し、授業を通して目指す児童を育てる。
- (3) 各校務分掌でつきたい力を焦点化し、集会等を通して児童、教職員が取組を共通理解し、短期スパンの検証等を踏まえて目指す児童の育成に取り組む。

5. 目指す学校像

～ 湊でよかった！と思える学校に ～

- ・子どもが 学びたい 通いたい と思う学校
- ・保護者が 学ばせたい 通わせたい と思う学校
- ・教師が 高めたい 働きたい と思う学校

- (1) 子どもがみんなで学び合い、一人一人の資質・能力を伸ばせる学校
- (2) 温かく規律があり、活力ある風土の中で、切磋琢磨できる学校
- (3) 児童、保護者、地域の方々から愛され、信頼され、応援される学校

6. 目指す児童像

- (1) 自ら考え、自ら学ぶ子
- (2) やさしく思いやりのある子
- (3) たくましい子

7. めざす教師像

- (1) 児童・保護者及び地域の信頼と期待に応える教師
- (2) 学び合いながら指導力向上に努める教師
- (3) 危機管理意識を常に持ち、社会人としてのモデルとなる教師

8. 重点課題

- (1) 社会の変化に対応できる、資質・能力の育成
- (2) 自他を大切にする、豊かな心の育成
- (3) 信頼される、質の高い学校づくり

9. カリキュラムマネジメントの柱・・・「主体的に考え、主体的に関わり合う力」

- (1) 学習面（学習指導部）
 - ①自らの足で学びを進めようとする学び「目的意識を持った学び」
 - ②お互いの意見を交流し、学びを広げたり深めたりしようとする学び「相手意識を持った学び」
- (2) 生徒指導面（生徒指導部）＋道徳科（道徳教育推進教師）
 - ①友達や自分の良いところを認め合える児童の育成「思いやりのある温かい心」
 - ②正しく判断し、行動できる児童の育成「判断力」
- (3) 特別活動面（特活保体指導部）
 - ①話し合って決めたことを、力を合わせてやり切る児童の育成「協働力」
 - ②自身の取組をふりかえり、次の機会に生かしていく児童の育成「省察力」
- (4) 保健体育面（特活保体指導部）
 - ①粘り強くやり切る児童の育成「粘り強さ・最後までやり切る力・忍耐力」
- (5) 取組のキーワード
 - ・みんなが主役 ・みんなが活躍 ・みんなでつくる 授業

10. 家庭・地域との連携

- (1) 学校運営協議会により、学校と地域との双方向の連携・協働を強化
- (2) 白山ジオや地域について理解を深める授業づくりの推進
- (3) 「安全基地」としての家庭との連携による成長の支援
 - ①努力の過程を「認める、ほめる、励ます」関わりの共有
 - ②「早寝、早起き、朝ご飯」等の生活習慣の形成
 - ③家庭学習習慣、読書活動の充実
- (4) 幼保小中の学びと育ちの滑らかな接続
- (5) 安全・安心な環境整備と安全教育の充実